



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

市制70周年記念事業

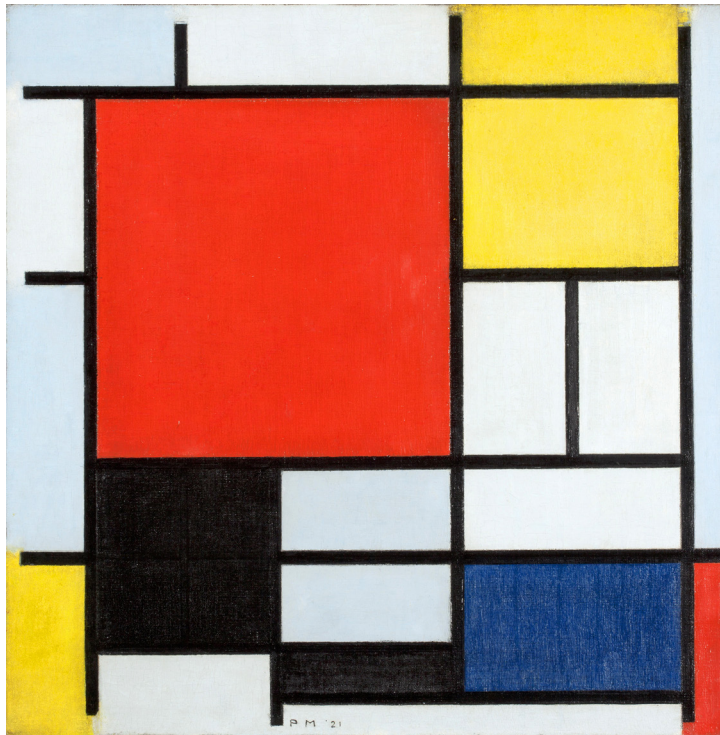
生誕150年記念

モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて

Mondrian: Commemorating the 150th Year since his Birth

| 会期 | 2021年7月10日[土] - 9月20日[月・祝]

| 会場 | 豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1



ピート・モンドリアン〈大きな赤の色面、黄、黒、灰青色のコンポジション〉
1921年 油彩、カンヴァス デン・ハーグ美術館 Kunstmuseum Den Haag

展覧会開催概要

| 休館日 | 月曜日[8月9日、9月20日は開館]

| 開館時間 | 10:00-17:30[入場は17:00まで]

| 主催 | 豊田市美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知

| 共催 | 中日新聞社

| 協賛 | 野崎印刷紙業

| 後援 | オランダ王国大使館、FM AICHI、ZIP-FM

| 協力 | KLMオランダ航空

| 企画協力 | NTVヨーロッパ

| 観覧料 | 一般1,400円[1,200円] /

高校・大学生1,000円[800円] / 中学生以下無料

* []内は前売り及び20名以上の団体料金。

障がい者手帳をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は

在学の高校生及び豊田市内在住の75歳以上は無料(要証明)。

その他、観覧料の減免対象者及び割引等については

当館ウェブサイトをご確認いただくか、

豊田市美術館へお問い合わせください。

前売券販売場所及び期間: 豊田市美術館(6月20日[日]まで)、

T-FACE B館2階インフォメーション、ローンチケット(7月9日[金]まで)

ご来館の際はマスクの着用、手指の消毒など

感染症対策にご協力をお願いします。

状況により開館日の変更や入場の制限等を行う可能性があります。

最新情報を当館ウェブサイトでご確認のうえご来館ください。

開催趣旨

20世紀を代表する画家のひとりピート・モンドリアン(1872-1944)。その名とともに知られる垂直水平の線と、三原色、無彩色で描かれた〈コンポジション〉シリーズは、彼の絵画理論「新造形主義」とともに絵画史の転換点として画家の誕生から150年を迎える現在も重要であり続けています。

こんにちでは抽象絵画の先駆者として知られるモンドリアンですが、40代半ばから抽象的な作品を描き始める以前には多くの風景画を手掛けており、オランダの風車や砂丘、教会や花の描き方には豊かなヴァリエーションが見られます。本展では、オランダのデン・ハーグ美術館所蔵品を中心に、初期の風景画にはじまり神智学やキュビズムを取り入れて、いくども画風を変化させながら〈コンポジション〉へと至った画家の軌跡を辿ります。

あわせて、モンドリアンとともにデ・スタイルの中心作家として活動したテオ・ファン・ドゥースブルフやヘリット・トーマス・リートフェルトら関連する作家の作品展示をとおして同時代における抽象芸術の広がりをご覧くださいませ。

ピート・モンドリアンは1872年オランダ中部のアメルスフォルトに生まれました。教師でアマチュア画家でもあった父や、風景画を多く描いたハーグ派の画家であった叔父の影響を受けながら、17歳(1889年)で図画教師免許を取得、25歳(1897年)まで美術アカデミーで学びます。その後は川辺の景色や農家、花や木々などをモチーフに印象派などの影響を受けた作品を多く描きますが、36歳(1908年)のときに画家ヤン・トーロップに出会ってからは、塔や砂丘を描いた作品に象徴主義の影響を色濃くにじませています。1911年、39歳の頃にはオランダを出てパリでの生活をはじめ、キュビズムを取り入れながらイメージの単純化と抽象化を加速させていきます。さらに数年のあいだ変化を重ねながら独自の絵画理論を突き詰め、1917年(45歳)に「絵画における新しい造形」を『デ・スタイル』創刊号に発表しました。デ・スタイルは、テオ・ファン・ドゥースブルフが主導者となってモンドリアンら他の作家とともに発足したグループの名前であり、その名を冠した機関誌には多くの芸術家が絵画や建築などについて盛んに意見を表明しています。モンドリアンはその理論と作品とで当初からこのグループの中心的存在でしたが、ドゥースブルフとの意見の相違を感じ、1925年(53歳)にデ・スタイルを離れます。その後も制作、執筆ともに精力的に活動を続けますが、第二次世界大戦の戦火がパリに迫り、1938年(66歳)にロンドン、1940年(68歳)にはニューヨークに渡りながらも〈コンポジション〉を晩年まで描き続けました。

展覧会のみどころ

23年ぶりの回顧展

2022年に生誕150年を迎えるモンドリアンの回顧展は日本では23年ぶりです。モンドリアンの代名詞〈コンポジション〉シリーズを含む、モンドリアン作品54点をご覧ください。

モンドリアン作品の変化を辿る

〈コンポジション〉シリーズに比べて、モンドリアンがそれ以前に描いた多くの風景画はそれほど知られていません。また、抽象絵画を描き始めたのが40代の半ばからだったことも、意外な事実かもしれません。モンドリアンがこんにちよく知られる「モンドリアン」になるまでを初期から晩年までの作品とともに辿ります。

交差する抽象

ファン・ドゥースブルフを主導者としたデ・スタイルの作家たちは、モンドリアンを理論的基軸としながら、絵画、彫刻、建築などさまざまな分野で抽象的な表現を試みました。会場では、モンドリアンと同時代に活動した他の作家たちの作品とモンドリアンの作品を見比べられます。

展示予定作品:68点(モンドリアン作品54点、関連作品および資料14点)

関連事業:

会期中ギャラリートーク等の開催を予定しています。
詳細は当館ウェブサイトにてお知らせします。

同時開催:

寺内曜子 | バンゲア
コレクション展:ひとつの複数の世界

巡回情報:

SOMPO美術館 2021年3月23日[火]ー6月6日[日]
詳しくはSOMPO美術館ウェブサイトをご覧ください。

展示内容に関するお問合せ

豊田市美術館 学芸担当:石田、鈴木
Tel:0565-34-3131

広報画像提供のご依頼

豊田市美術館 庶務担当
吉兼(よしかね)、籠谷(こもりや)
Tel:0565-34-6748 Fax:0565-36-5103
E-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1
<https://www.museum.toyota.aichi.jp>

モンドリアン展 純粋な絵画をもとめて
広報用画像について

画像等の資料をご希望の方は以下を記入の上、
FaxかE-mailでお送りください。

送り先：
豊田市美術館
庶務担当 吉兼(よしかね)、籙谷(こもりや)
Tel:0565-34-6748 Fax:0565-36-5103
E-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前 _____ 様

ご所属 _____

Tel _____

Fax _____

E-mail _____

掲載紙/メディア名 _____

発売、放送予定日(雑誌の場合は○月号) _____

必要な画像の番号 _____

必要な鑑賞券枚数(最大5組10名分)* _____ 枚

鑑賞券の送付先* _____

*読者プレゼント等のため希望する場合のみご記入ください。

1
ピート・モンドリアン《乳牛のいる牧草地》
1902-05年 油彩、紙、厚紙
デン・ハーグ美術館

2
ピート・モンドリアン《砂丘Ⅲ》
1909年 油彩、厚紙
デン・ハーグ美術館

3
ピート・モンドリアン《ドンブルグの教会塔》
1911年 油彩、カンヴァス
デン・ハーグ美術館

4
ピート・モンドリアン《色面の楕円コンポジション 2》
1914年 油彩、カンヴァス
デン・ハーグ美術館

5
ピート・モンドリアン《色面のコンポジション No.3》
1917年 油彩、カンヴァス
デン・ハーグ美術館

6
ピート・モンドリアン《格子のコンポジション 8-暗色のチェッカー盤コンポジション》
1919年 油彩、カンヴァス
デン・ハーグ美術館

7
ピート・モンドリアン《大きな赤の色面、黄、黒、灰、青色のコンポジション》
1921年 油彩、カンヴァス
デン・ハーグ美術館

8
ピート・モンドリアン《赤、青、黒、黄、灰色のコンポジション》
1921年 油彩、カンヴァス
デン・ハーグ美術館

9
ピート・モンドリアン《コンポジション No.1》
1929年 油彩、カンヴァス
京都国立近代美術館

10
ピート・モンドリアン《線と色のコンポジション: III》
1937年 油彩、カンヴァス デン・ハーグ美術館

フォトレジット:画像番号9以外は、いずれもKunstmuseum Den Haag

なお資料の使用には以下の点にご注意ください。
・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮いただき、クレジットを表記してください。
・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。

美術館使用欄
画像提供の依頼日 年 月 日
画像送付 校正 修正 配信・配本

